



みやかわ

会津美里町立宮川小学校
平成30年度学校だよりNo.11
平成30年9月28日

町小学校陸上大会

9月20日（木）に第13回会津美里町小学校陸上競技大会が新鶴ふるさとの杜スポーツ公園陸上競技場で行われました。

町内の5・6年生が参加して100m、200m、80mハードル、800m（女子）、1000m（男子）、走り幅跳び、走り高跳び、ジャベリックボール投げ、400mリレーを行いました。

5・6年生は、この大会に向けて1学期の終わりから体育の時間などを使って熱心に練習してきました。夏休み中は練習を行いませんでしたが、2学期が始まると、暑い日射しが降り注ぐ中でも、自分の目標に向かって練習を積み重ねました。勿論弱音を吐くこともありましたが、先生方のアドバイスと各ご家庭の励ましで最後まで頑張り抜くことができました。

当日は、けがのため参加できない子もいましたが、本当に一生懸命に取り組みました。特に応援の態度がすばらしかったです。みんなのために心を1つにして応援する姿は、崇高なものを感じました。本校の児童がしっかり成長できている証でした。大会の成績以前の心構えがしっかりできていました。

今後も学校生活の中で、成果を発揮して行ってほしいと思います。たのもしい5・6年生です。



教育実習生がやってくる



10月1日（月）から4週間にわたって、本校に教育実習生が来ることになりました。本校の卒業生で、米畑壮一郎（よねはた そういちろう） くんです。

子どもたちにとっては、カッコいいお兄さんです。きっとすぐに仲良くなってくれるだろうと思います。大部分を2年1組で過ごすようになりますが、どこかで一緒になることもあるでしょう。仲良くしてほしいと思います。

読書力を高める

最近の学力テストなどの問題傾向を調べてみると、長めの文章が続き、その後に設問が置かれることが多く

なりました。本校の児童は、このような問題形式に苦手意識を持っています。

さて、そのような問題で要求されるのが『読解力』です。設問の意味を読み解いて、必要な条件を見つけ、求められている事項について答えなければなりません。

そうなってくると、「読書」がまずその手立てとして想像されます。

読書によって子どもたちが身につける能力、資質には大きなものがあります。

- 読書で得た「知識」
- 読書しながら考えた「思考力」
- 読書をして映像化する「想像力」

など、たくさんの能力の育成に役立っています。

ところが、読書をすれば、学力が伸びるとは簡単に結びつかないのが現実です。というのは、子どもたちが好んで読む本は、大部分が「物語」です。ストーリー展開やキャラクターの設定に面白さがあるって子どもたちはどんどん読み進めていきます。この中では、「論理性」はなかなか求められないのです。各種テストなどは、問題文が1つの答えに向かっていくように論理性で組み立てられます。そこが長文で読み切れないと、設問の意味さえ把握できず、誤答や無答が多くなっていくのです。

本校の弱さの1つは、そこにあると思われま

す。だからといって、子どもたちに説明文や論説文を無理に読ませても効果はありません。そもそも読書は「読みたい本を読む」楽しさが最も必要だからです。では、どうすればいいのでしょうか。

実は、親子読書にその効果があります。感想を聞いたり、本の中身について質問したりすることで物語を再構成するきっかけになります。そして、意味立てて物語をとらえ直していきます。メディアコントロールデーの時に是非取り組んでみてください。

秋本番、よい体験を

いよいよ10月に入ってきます。1年の半分が経過することになります。お子さんの半年間の成長はどうでしょうか。

1年生もすっかり大人になりました。先日、アサガオの種を収穫していました。ビニール袋にたくさん入れて、見せてくれました。その種が、この半年間に子どもたち自身が学校で身に付けたたくさんの学びや能力のように思えました。

秋本番になります。たくさんの経験を通して、実りの秋を迎えさせたいと思います。

